

秋田臨海鉄道(株)の事業終了について

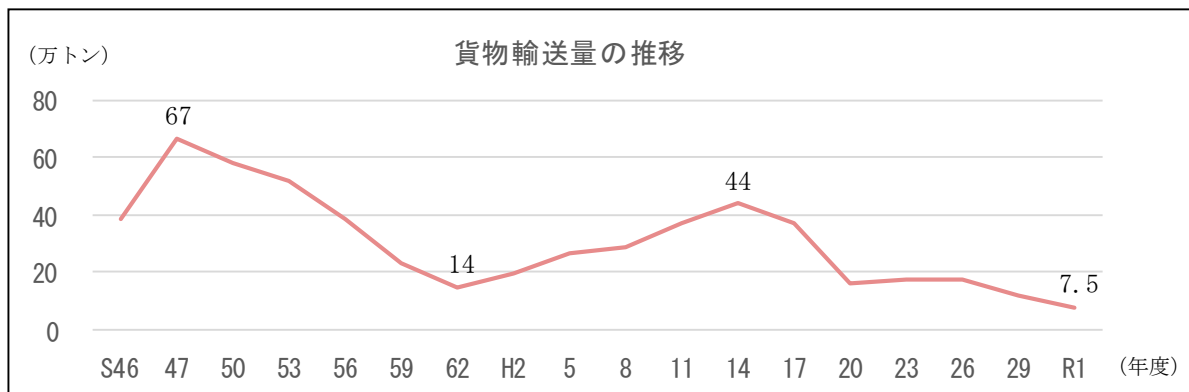
交通政策課

県の第三セクターであり、日本貨物鉄道(株)（以下「JR貨物」という。）のグループ企業である秋田臨海鉄道(株)（以下「臨海鉄道」という。）は、昭和45年の会社設立以来、JR貨物と連携し秋田港周辺企業に鉄道輸送サービスを提供してきたが、来年3月をもって取扱貨物は皆無となり、新たな荷主も見込めないことから、事業終了が避けられない状況となった。

これを受け、臨海鉄道では、臨時取締役会を6月19日に開催し、事業が終了となる見通しを報告するとともに、同日以降、社員に対し、JR貨物の雇用方針を含めた説明を行っている。

1 事業終了の背景

- 臨海鉄道の貨物輸送量は、全国的な産業構造の変化やモータリゼーションの進展により、昭和47年度の67万トン进行ピークに減少を続け、令和元年度は7.5万トンとなった。
- 臨海鉄道に接続して専用線を敷設する企業は、昭和54年までは13社を数えていたが、現在は1社まで減少している。
- 新たな荷主の掘り起こしに向けて、県も協力して企業訪問等を行ったものの、多頻度小口配送に対応可能なトラック輸送へのシフトが進んでいる今日においては困難な状況である。



2 今後の対応

- 臨海鉄道の社員の雇用について、JR貨物では、正社員全員（16名）をJR貨物グループで雇用する方針を示している。
- 事業終了後の会社の清算については、今後のJR貨物や他の株主等との協議により、進め方が検討されていくこととなる。

【秋田臨海鉄道(株)の概要】

秋田湾地区に立地する事業所の貨物を効率よく輸送するため、昭和45年に、日本国有鉄道、県、関連企業が出資して設立。

J R貨物との連絡運輸を担うほか、列車入換などの業務をJ R貨物等から受託。

【所在地】秋田市土崎港西一丁目12-6

【代表者】代表取締役社長 志水 仁

(1) 出資割合

J R貨物	190,000 千円	38%
秋田県	180,000 千円	36%
その他	130,000 千円	26% (7団体)
合 計	500,000 千円	

(2) 施設・運行

路 線：南線 (5.4km)、北線 (2.5km) (北線は休止中)

機関車：ディーゼル式3両

運 行：3往復/日

(3) 令和元年度決算見込み

経 常 損 益：20,594 千円、当期純利益：15,558 千円

利益剰余金：156,042 千円、純 資 産：658,744 千円

【施設概要図】

